

～見える化でムダ取り実践！5S活動の進め方～ 実践で学ぶ！ 5Sと目で見える管理

研修のねらい

生産現場において、すぐには必要とされない材料や工具、さらに仕掛品が数多くあると、作業を妨げ、ムダを生み、企業利益を圧迫する原因になります。

本研修では、現場でのムリ・ムダ・ムラを発見し、整理・整頓・清掃・清潔・躰(5S)と見える化を実現する手順を学びます。また、インターバルを活用して自社で5S活動に取り組むことで、自社・自部門の現場改善と改善活動定着手法を身につけます。

研修のポイント

- ☑ 5Sの視点で職場の問題点を把握する方法が学べます。
- ☑ 現場のムダの見つけ方と排除の仕方が学べます。
- ☑ 実際に自社・自部門の現状を持ち寄り、改善のポイントと方法を学べます。

研修期間

2023年
5/23(火)～5/24(水)

(2日間、15時間)

6/27(火)～6/28(水)

(2日間、12時間)

対象者

管理者・新任管理者層

- ・ 5S活動の推進リーダーの方
- ・ 自社の5S活動を見直したい方
- ・ 整理整頓を定着させたい管理部門の方

定員 30名

受講料 39,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

月日	時間	科目	内容
5/23 火	9:15～ 9:30	事務連絡	
	9:30～ 12:30	現場改善の取り組み方	生産現場のリーダーがどのような視点で現場に対する問題意識を持ち、役割を果たしていくべきかを理解したうえで、改善活動への取り組み方について、事例を交えて学びます。また、現在抱えている課題をグループでまとめ、共有化を図ります。 ・ 生産現場の基本構造と現場改善の必要性 ・ 生産現場の管理者の役割と行動 ・ 現場改善の具体的な取り組み方
	13:30～ 18:00	「5S」と「見える化」による改善活動の進め方(演習)	ムダを省き、現場の管理力を高め、利益を向上させる「5S」と「見える化」の本質や、その段階的な導入手順と定着・展開の仕方について、演習や改善事例などにより習得します。 ・ 作業事例をもとに「ムダ取り」の検討 ・ 「5S」「見える化」の考え方と進め方 ・ 「5S」「見える化」「ムダ取り」の関係性
5/24 水	9:00～ 12:30	5S改善計画と「5S」「見える化」の定着化	上記の演習を踏まえ、自社の5S改善計画を立て、発表を行います。「5S」「見える化」の定着化と全社的な展開方法を学ぶとともに、自社でのあり方を検討し、まとめます。 ・ 自社実践5Sプランシート作成(演習) ・ 定着化のしくみと全社的な展開の仕方 ・ 自社の現場改善に向けたチェックポイント
	13:30～ 17:30		
6/27 火	9:30～ 12:00	現場実践の振り返りと「5S」と「見える化」のマネジメント(演習)	自社の5S改善計画の現場での実践結果を振り返り、課題の抽出、改善方法の検討、新たな改善計画の作成を行うとともに、5Sと目で見える管理のマネジメントのあり方を学びます。 ・ 自社実践5S改善活動の発表 ・ 事例で学ぶQCDを高める「5S」「見える化」のマネジメント ・ グループ演習による新たな改善方法の検討、改善計画の作成
	13:00～ 17:00		
6/28 水	9:00～ 12:00		
	13:00～ 15:30		
	15:30～ 15:45	修了証書交付	

インターバル課題「職場での5S活動の実践」前半での学びを活かして、5S活動の実践に取り組めます。

※事務連絡等を含んだ時間：27時間30分

講師紹介(敬称略)



株式会社実践マネジメント研究所
代表取締役
植條 英典(うえじょう ひでのり)

中堅家具メーカーの経営企画室にて経営管理業務に従事した後、中村技術士事務所に入所し、その後(株)ビジテック創設に参画し、同社取締役にて就任。平成16年、実践マネジメント研究所を設立、平成28年、法人成り。工程管理、生産性向上対策、品質改善活動等を中心に、コンサルタント活動を行う一方、全国各地で企業のコンサルティングの他、中小企業大学校、大阪府工業協会、兵庫工業会、日本IE協会、四国生産性本部、わかやま産業振興財団、大阪産業振興機構、海外研修(マレーシア)等でのセミナー講師としても活躍中。
モットーは「常に企業は人なり」「改善に終わりなし」「ご安全に!!」